

令和6年度第2回リニア中央新幹線 三重・奈良・大阪建設促進連携会議 説明資料

令和6年9月2日
国土交通省 鉄道局

経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）2024

（令和6年6月21日閣議決定 リニア中央新幹線関係箇所抜粋）

第2章 社会課題への対応を通じた持続的な経済成長の実現 ～賃上げの定着と戦略的な投資による所得と生産性の向上～

5. 地方創生及び地域における社会課題への対応

（3）地方活性化及び交流の拡大

（持続可能で活力ある国土の形成と交通の「リ・デザイン」）

また、リニア中央新幹線については、財政投融資による支援を踏まえ、全線開業に係る現行の想定時期の下⁸⁹、適切に整備が進むよう、環境・水資源の状況や建設主体の財務状況を厳格にモニタリングし、必要な指導及び技術的支援を行うとともに、名古屋以西について、駅⁹⁰の整備に関する検討の深度化など、整備効果が最大限発揮されるよう、沿線自治体と連携して駅周辺を含めたまちづくりを進める。同時に、東海道新幹線の輸送余力を活用した東海地域の利便性向上を図り、地域にもたらす経済効果の最大化を目指す。

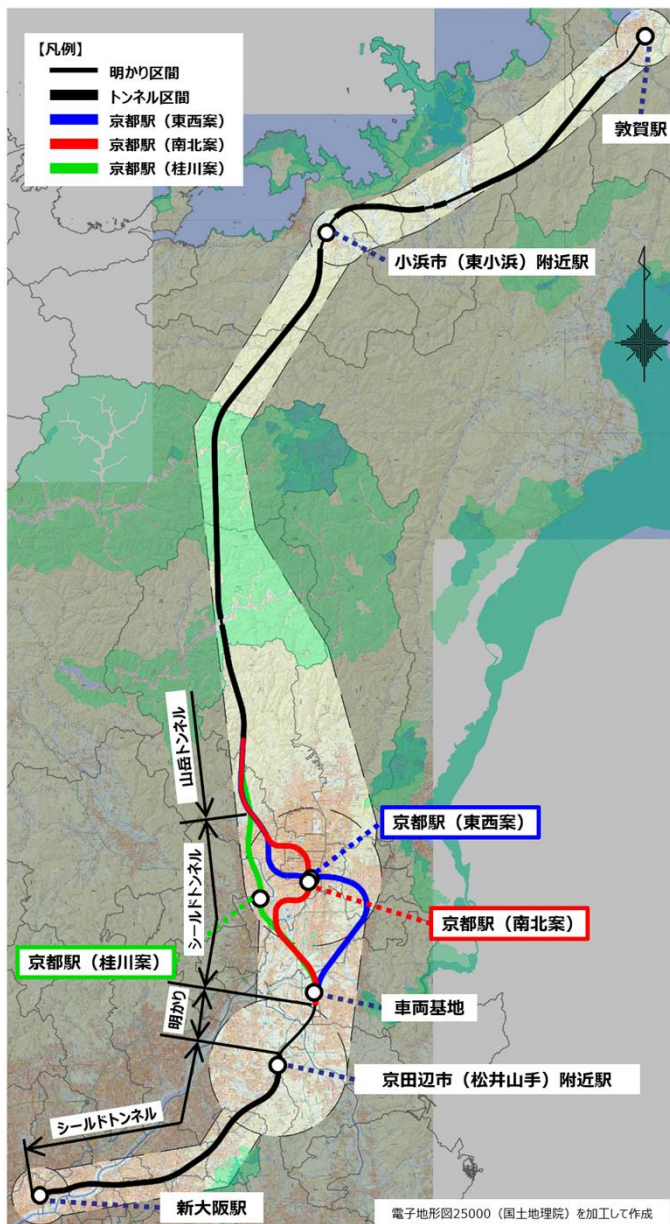
89 2016年、建設主体の当時の2045年の東京・大阪間の開業想定時期について最大8年間前倒し（最速2037年）を図るため、財政投融資を活用して2016～2017年の2年間で3兆円の長期・固定・低利の貸付けを行った。

90 駅位置については、新大阪駅のほか、三重県内3か所（エリアA（亀山駅東側）、エリアB（同駅西側）及びエリアC（同駅南側））及び奈良県内3カ所（JR平城山駅周辺、JR新駅周辺及びJR関西本線と近鉄橿原線が交差する場所周辺）が候補となっており、建設主体による環境影響評価手続の中で特定することとされている。

北陸新幹線(敦賀・新大阪間)について

○ 北陸新幹線(敦賀・新大阪間)については、環境影響評価を実施するとともに、令和5年度より、施工上の課題を解決するための「北陸新幹線事業推進調査」を先行的・集中的に実施。令和6年8月7日、与党北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会において、詳細な駅位置・ルート(案)の案、今後のスケジュール(最短の場合)を提示。令和7年度予算概算要求においては、推進調査を継続の上、新規着工に要する経費を事項要求とした。

詳細な駅位置・ルート(案)



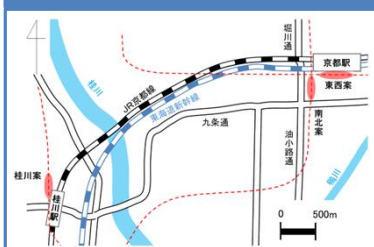
※現時点での想定イメージ。

電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成

小浜市(東小浜)附近駅



京都駅



京田辺市(松井山手)附近駅



新大阪駅



事業費・工期等

	京都駅(東西案)	京都駅(南北案)	京都駅(桂川案)
総延長	約146km	約144km	約139km
停車場等	東小浜(地上) 京都(地下) 松井山手(地下) 新大阪(地下) 車両基地1箇所		
新大阪駅工期	概ね25年程度		
京都駅工期	概ね28年程度	概ね20年程度	概ね26年程度
概算事業費(※1) (令和5年4月価格)	概ね3.7兆程度	概ね3.9兆程度	概ね3.4兆程度
将来の物価上昇を見込んだ場合の 概算事業費(※2)	概ね5.3兆程度	概ね5.2兆程度	概ね4.8兆程度

※1 平成28年度当時は2.1兆円。その後の物価上昇、検討の深度化等により再算定。

※2 R5.4時点の価格で算定された概算事業費について、近年の物価上昇率を踏まえ、今後年2%上昇すると仮定。

与党PT決議(R6.8.28)

「令和7年度中の着工…に向け、年内に詳細な駅位置・ルートの絞り込みができるよう、…丁寧な説明を行う」、「新規着工に要する経費について事項要求を行う」、「…着工5条件の確認に向けて、安定的な財源の確保、費用対効果のあり方等について検討を行う」、「調査・検討状況等について定期的に報告する」

着工に向けたスケジュール(最短の場合)



R7 予算概算要求
詳細な駅位置・ルート(案)提示

R7 予算概算決定
準備書(含詳細駅位置・ルート)公表

知事意見

R8 予算概算要求
評価書公表

環境大臣意見

国交大臣意見

R8 予算概算決定
着工5条件確認
(財源・収支・B/C・JRR同意・並行在同意)

補正後評価書公表

工実施計画認可・事業着手